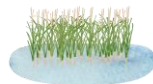




立命館大学 経済学部 環境経済学「寺脇拓ゼミ」のSDGs推進プロジェクト『ヨシストロー』の普及活動の取り組みを、共同で体験プログラム化！SDGs達成に向けた環境づくりのために、地域の資源をどのように活用し社会に広めていくのか、大学生の素敵なアイデアから学びます。



By 立命館大学 経済学部「寺脇拓ゼミ」
地域連携・課題解決型プロジェクト

プログラム内容

所要時間：約1時間

- プラスチックごみ問題について（10分）
 - └ 現状と課題（自分たちの生活とのつながり）
- 立命館大学生が発明！「ヨシストロー」（10分）
 - └ なぜストローなの？なぜヨシなの？
- 実際に作ってみよう（30分）
 - └ プラスチック・紙ストローと比べてどうか？
- つくる責任、つかう責任（10分）
 - └ 「普及可能性」について学ぼう

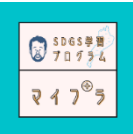


* 講話やグループワークを交えての体験となります。

学習ポイント

- (1) プラスチックごみなどの環境問題の現状について学ぶ
- (2) 地域の資源の活用方法やアイデアを生み出す力を学ぶ
- (3) SDGs12の「つくる責任、つかう責任」の観点から、作って終わりではなく、どのように普及させるかを学ぶ

* 内容は、今後変わることがございます。

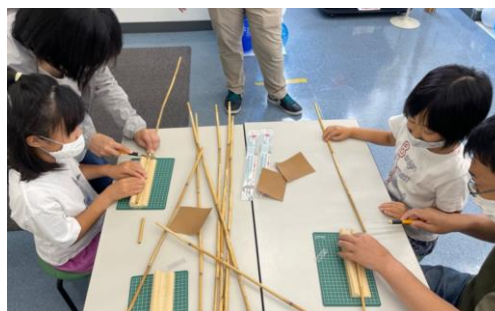


【京都・滋賀の宿泊施設へ出張可能！】 環境学習プラン「ヨシストロー作り」



自然 環境 産業 歴史 文化 経済

夕食後のコンテンツなどに「環境学習」「SDGs学習」はいかがでしょう。
京都や滋賀のホテル、旅館へ出張にて実施させていただきます。




 京都・滋賀県の自然体験学習施設
BSCウォータースポーツセンター
BSC water sports center

2030SDGsワークショップ 事前・事後学習シート

BSCウォータースポーツセンター

 ぎょうとSDGsネットワーク 

実施場所	BSC、または宿泊ホテルなど
実施時期	通年
対象	小学生・中学生・高校生
所要時間	45分～1時間
人数	40～400人
持ち物	特になし

講演内容

***ポイント：SDGs達成に向けた環境づくりのために、地域の資源をどのように活用し社会に広めていくのか、大学生の素敵なアイデアから学びます。**

- プラスチックごみなどの環境問題の現状について学ぶ
- 地域の資源の活用方法やアイデアを生み出す力を学ぶ
- SDGs12の「つくる責任、つかう責任」の観点から、作って終わりではなく、どのように普及させるかを学ぶ

備考

- 材料や道具などはこちらですべてご準備いたします。
- 会場使用料、その他会場設備にまつわる費用については、ご負担をお願いしております。

★ヨシとは？

★「ヨシ」とは？

琵琶湖岸のほぼ全域に分布するヨシは、主に次の2つの環境保全の働きをもちます。

1. 生き物の住処としての働き（卵を産む、外敵から身を隠す）
2. 琵琶湖の水質を浄化する働き（微生物が水中の汚れを分解）

従来、刈り取られたヨシは、伝統的な日本家屋の建材などに利用されてきましたが、近年では生活様式の変化に伴って、ヨシの伝統的な利用は縮小する傾向にあります。

その中で、**新たな活用方法として生まれたのが「ヨシストロー」**

【水辺で育つヨシの耐水性】と【茎の中が空洞である】という特徴は、まさにストローに最適では！？

という、立命館大学生の素敵なアイデアから誕生しました。

